

三年国語【すいせんのラップその2】

p222～p225

④ 場面ばめんのようすを思おもいうかべて音読おんどくする。

一 意味いみのあてはまるものを○をうまれよう。

- ① かきね ㊦ （ ） 草のねっこ
① （ ） ○ （ ） かこい
- ② 気づった ㊦ （ ） ○ （ ） かつこうつけた
① （ ） （ ） とも
- ③ 口をそろえて
㊦ （ ） ○ （ ） みんなが同じことを言っ
① （ ） （ ） みんながちがうことを言っ

二 音読ポイントを確認して読んどみよう。

ページ22 2行目

- ① ピラリ・ピッピー・ランパッパ・ピー

にじりりてい、うきうきする音

ページ22 11行目

- ② 「はあい、目ざましラップ、サンキュー、
サンキュー。」

気づった声で

ページ23 8行目

- ② 「ピピピポー・ピポピポ・ピッピー」

元気に

三 問いに答えよう。

- 問一 二三ページの八行目の「ピピピポー・
ピポピポ・ピッピー」という音で、どんな
カエルが、目をさしましたか。

（ 豆つぶみたいなかえる。 ）

- 問二 二四ページの五行目、ありたちが口
をそろえて教えました。とありますが、あ
りたちは何を教えましたか？

すいせんのラップで目がさめたこと。

- 問三 二十五ページの七行目「あたりは、ど
んどんにぎやかになり、」とありますが、お
まつりみたいに、にぎやかになったのは、
なぜですか。

（ すいせん ） がたくさん
ラップをふき、
（ かえる ） がたくさん
とび起きたから。

ふりかえり

二十四ページの九行目「うれしいな。うれし
いな。うれしいな。ぴこぴん・ぴこぴん・ぴ
こぴんぴん。」は、どのように読むとよいで
すか。答えに○をしましょう

- ㊦ （ ） 低く強めの声で、早口で
① （ ） ○ （ ） 明るく、かるく、はずむように